

ワダソウ	<i>Pseudostellaria heterophylla</i> (Miq.) Pax	絶滅危惧I類
		ナデシコ科
選定理由	生育面積が狭く、過度に分断されている。個体群が極めて小さい。	写真(岐阜県博物館) 標本 
形態の特徴	主根は紡錘状で、細い枝根を出す。茎は直立し、高さ10-20cm。葉に2形あって、上部の4葉は仮輪生状、広卵形~菱状卵形、他の葉は倒被針形~長いへら形で基部は細まる。葉は薄く、長さ3-6cm。花は1-5個で頂生。萼片は5個で披針形、長さ5-10mm。花弁は白色、倒卵形で長さ7-8mm。朔果は球卵状で5裂する。	
生態的特徴	山地の林縁の草の間に生える。	
分布状況	ウスリー、中国、朝鮮半島、九州北部、本州中部以北に分布。岐阜県には県南東部の矢作川流域に分布する。	
減少要因	本県はワダソウの分布の西端になる。開発などによって生育環境が減少している。	
保全対策	生育地の生育環境の保全。	
特記事項		
参考文献	北川政夫(1982)ナデシコ科. 日本の野生植物1 離弁花類. 平凡社	

文責: 千藤克彦